



平成 23 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 洋幸
(コード番号 5541 東証・大証 第1部)
問合せ先 取締役専務執行役員 庭山 隆夫
(TEL03-3201-6681)

インドネシア ウェダベイニッケルプロジェクトに関わる

ストランドミネラルズ社株式の一部譲受について

大平洋金属株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長:東 洋幸、以下当社)は三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小林 健)の保有するストランドミネラルズ社(Strand Minerals (Indonesia) Pte Ltd、本社:シンガポール、以下ストランド社)株式の33.4%の内、3.4%を30億円で譲受することについて、残りの66.6%を保有するエラメットエスエー社(Eramet S.A.、本社:フランス、以下エラメット社)*1も含め3社間での株主間合意に至りましたのでご報告いたします。

- 1 当社がウェダベイニッケルプロジェクトへの参画によるメリットは以下であります。
 - ① ウェダベイニッケルプロジェクトは、数量、品質ともに世界有数のニッケル鉱床であり、このプロジェクトへの参画によって、当社の将来のニッケル源としての中間製品の確保が可能となる。
 - ② ウェダベイニッケルプロジェクトは当社と同じ常圧浸出法を採用する計画であり、当社がこれまでに培ってきた技術を活用できる。
- 2 ウェダベイニッケルプロジェクトの当面のスケジュールとしては、2012年末を目処として最終開発意思決定をする予定です。

以 上

<概要>

ストランド社は、インドネシアのハルマヘラ島に於ける世界有数の大規模未開発ニッケル鉱床ウェダベイニッケルプロジェクトの開発・推進母体であるピーティーウェダベイニッケル社(PT Weda Bay Nickel、本社:インドネシア、以下ウェダベイニッケル社)の株式90%を保有する特定目的会社です。

尚、ウェダベイニッケル社株式の残りの10%は、インドネシアのパートナーであるピーティーアンタムティービーケー社(PT Antam Tbk、本社:インドネシア、以下アンタム社)*2が保有しております。

最新の調査結果からウェダベイニッケル鉱床の鉱物資源量は、併せて約6.3百万トン(ニッケル純分ベース)が確認されています。エラメット社がフランスの研究所にて開発したニッケル湿式精錬法を採用し、最終的には年産約6.5万トンのニッケル生産を目標としています。

*1 エラメット社は、世界有数の金属原料・高性能合金生産者であり、パリのEURONEXT証券取引所に上場、その銘柄はCompartment A指数に組み込まれており、世界20ヶ国に約15,000名の従業員がおります。金属原料のバリューチェーンにおいては鉱山業から乾式精錬業・湿式精錬業まで行っており、ニッケル、マンガ、電力業界・航空機業界向け鍛造部品等を生産しています。

*2 アンタム社は、インドネシアの国営企業として、探鉱、鉱山業、製錬業、精錬業から販売まで資源開発を垂直的に行っております。アンタム社の主要生産物はフェロニッケル、ニッケル鉱石、金、銀、ボーキサイトであります。

<参考>

ウェダベイニッケルプロジェクト位置



出資形態

